

学校法人東洋大学 中期計画 「TOYO GRAND DESIGN 2025-2029」を公表

学校法人東洋大学（東京都文京区／理事長：安齋隆）は、2025年度から5年間の中期計画「TOYO GRAND DESIGN 2025-2029」を策定し、2025年2月28日（金）より特設サイトにて公開しました。

特設サイト <https://www.toyo.ac.jp/about/foundation/granddesign/>

1887年に哲学者・井上円了によって「哲学館」として創立した東洋大学は、「東洋大学の心」として、「他者のために自己を磨く」・「活動の中で奮闘する」ことを掲げています。また、「自分の哲学を持つ」・「本質に迫って深く考える」・「主体的に社会の課題に取り組む」という3つを教育の理念としています。

この「東洋大学の心」と教育理念を礎とし、社会のより一層の発展に貢献するために、「地球社会の明るい未来を拓く」をミッションとした中期計画「TOYO GRAND DESIGN 2025-2029」を策定しました。

本学は、研究の高度化が教育の高度化を牽引し、研究活動と教育活動の高度化が、社会連携・社会貢献活動の高度化を推進、その結果として「地球社会の明るい未来を拓く」というミッションの実現を目指せると考え、各領域の計画を全学で推進します。

さらに「TOYO GRAND DESIGN 2025-2029」の特徴、ひいては学校法人の姿勢として、「先進性（Innovation）」、「多様性（diversity）」、「連携（Collaboration）」、「誠実（Integrity）」の4つを掲げました。

・**先進性（Innovation）**：立ち止まっている組織を動かすことは至難の業だが、動き出した組織は自ら加速する。変化の激しい時代だからこそ先を読み、proactive（積極的）な姿勢でフットワーク良く走り出す、東洋大学はそんな学校でありたい。

・**多様性（diversity）**：多様性は可能性であり、多様性を公正に受け入れることのできる組織は潜在力が高く変化にも強い組織である。多様な才能を秘めた人たちがそれを伸長させ、未来を担う人材へと成長することを支援する、東洋大学はそんな学校でありたい。

・**連携（Collaboration）**：少子高齢化等の厳しい諸環境の中で、理想とする教育・研究を探究するためには内外との一層の連携が不可欠である。海を越え、垣根を越え、持たざるリソースとも連携してより良いものを作り上げる、東洋大学はそんな学校でありたい。



・**誠実 (Integrity)** : 生成 AI の進歩により言葉が簡単に生み出せるようになる一方で、反比例的に言葉は重みを失っている。耳ざわりの良い言葉で飾ることなく、哲学を持った誠実な活動でステークホルダーの信頼を得る、東洋大学はそんな学校でありたい。

学校法人東洋大学及び東洋大学は、「哲学する力」で社会と対話を重ね、「地球社会の明るい未来を拓く」ために邁進してまいります。

【学校法人 東洋大学について】

東洋大学は 1887 年に哲学者・井上円了により「哲学館」として創立され、「諸学の基礎は哲学にあり」「独立自活」「知徳兼全」を建学の精神としています。創立者の志を受け継ぎ、東洋大学の教育理念である「物事の本質に迫って深く考え、考察を重ねること」を基礎とし、科学する力、実践する力を育てることで、地球社会の様々な課題に取り組む力を養うことを目指しています。

2024 年現在、白山、赤羽台、川越、朝霞キャンパスに 14 学部 48 学科と大学院 15 研究科を擁する総合大学へと発展しました。

2024 年に生命科学部、食環境科学部、理工学部生体医工学科を移転・改組し、朝霞キャンパスは「生命（いのち）と食」に関する総合的な教育研究拠点に生まれ変わりました。

東洋大学 HP: <https://www.toyo.ac.jp/>

【本件に関するお問合せ】

東洋大学総務部広報課 担当：宮下

MAIL : mlkoho@toyo.jp